

技能競技大会（ビルクリーニング）

かだい
課題2

だんせいゆかじむしょせいそう
弾性床事務所清掃

課題 2-1P

きょうぎじかん ぶん いない
競技時間：10分 以内

床の面積：16 m²（たて4m・横4m）

ゆかざい
床材： パネル合板ごうばん

紙片ゴミ：約50 ミリットル（ひと握り）まく

◆ じぜん じゅんび
事前の準備

ダスタークロスホルダーにダスタークロスを取り付けておく。

モップ柄^えの長さ^{なが}を、自身^{じしん}の肩^{かた}から耳^{みみ}の
間^{あいだ}で調整^{ちょうせい}する。

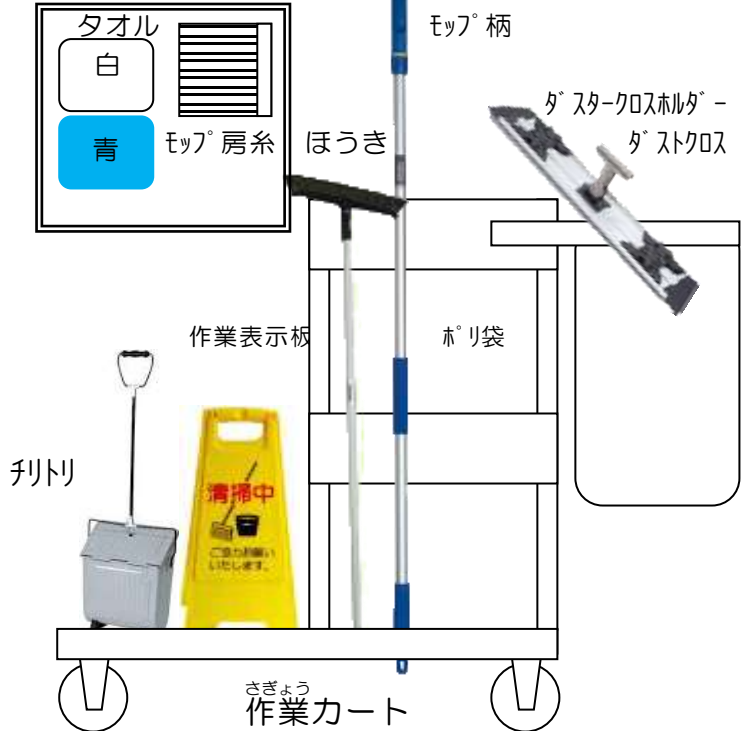
きょうぎ はい さい さぎょう
競技コートに入った際、作業カートに
セットする。

◇^{しょう}使用する^{どうぐ}道具

- 作業カート
- 作業表示板
- ダスタークロスホルダー
- ダストクロス
- ほうき
- チリトリ
- モップ柄
- モップ房糸(ラーク)
- タオル 濡れタオル(青)
- タオル 乾きタオル(白)
- ポリ袋

さぎょう 作業カートでの道具配備

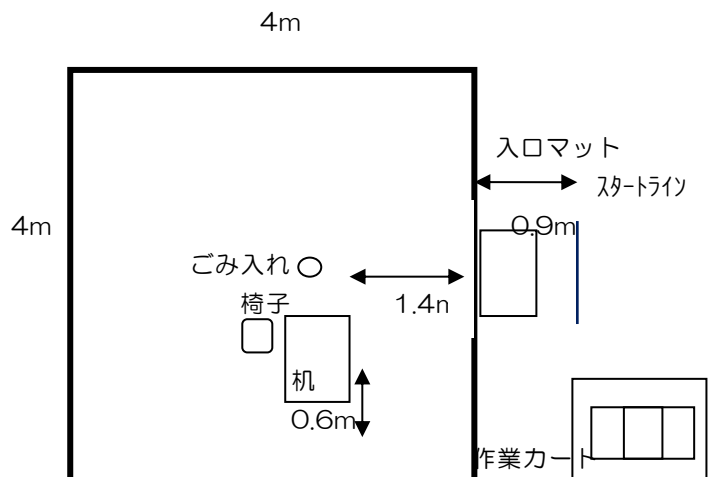
じょうたん なか
上段の中



◇ せつびとう
設備等

- ・サークル(わく)
- ・入口(いりぐち)マット
- ・机(つくえ)
- ・椅子(いす) (パイプ椅子(いす))
- ・ごみ入れ(い)

◇ はいちす
配置図



◇競技委員の「始め」の合図について

開始の申告を行う

スタート位置に立ち、片手を上げて「始めます」と開始の申告を行う。

◇作業準備

作業カートを前に出す。

作業表示板を立てる。

作業の邪魔にならない位置に立てる。



◇入室のあいさつをする

ポリ袋を持って、入室する。

「失礼いたします」と一礼して入室する。

◇作業準備及びゴミの収集

椅子を机の上にあげる。

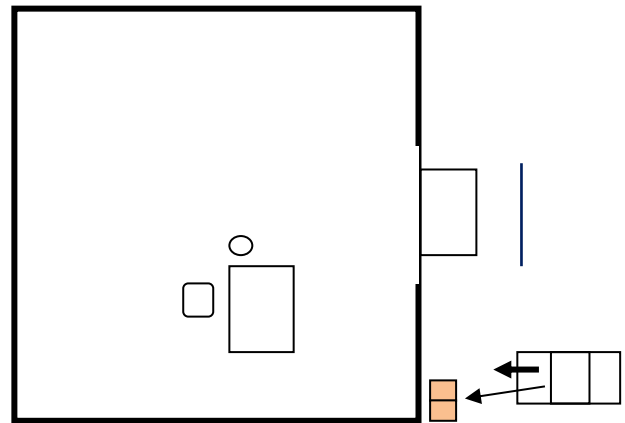
ごみ入れのゴミを収集する。

ポリ袋ごと取り除き、カートの集塵

袋に入れる。

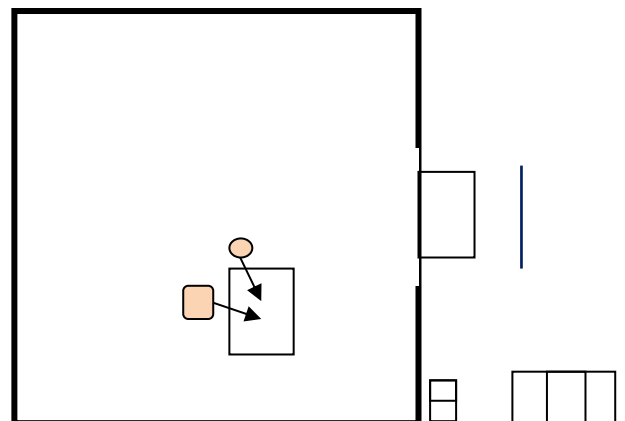
ごみ入れにスペアのポリ袋を被せる。

ごみ入れを机の上にあげる。



◆開始の申告、入室のあいさつははっきりと競技委員にわかるように行う。

◆作業カート、作業表示板は作業の邪魔にならない位置に準備する。



◆椅子が机からはみ出ないように置く。

(この間の手順は前後しても構いません。)

◇ダスタークロスによる掃き作業

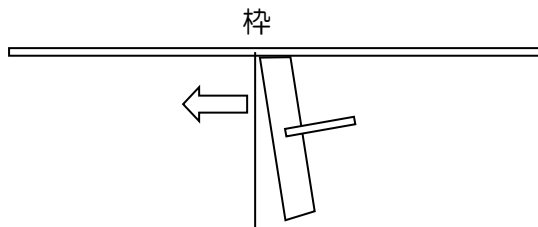
カートからダスタークロスのついているホルダーとモップ柄を持ち、入口マットの上で取り付ける。

【モップ柄の持ち方】

上の手 柄の先端に親指をのせて握る。
 下の手 上の手から肩幅ほどあけて下を持つ。

【ホルダーの傾き】

枠に沿った押し掃きでは、枠側が少し先に進む。



【作業の進め方】

①～③ 枠に沿って押し掃きを行う。ホルダーの傾きに注意する。

④～⑧ つくえ下、中央をS字押しで掃き進み、一カ所に掃き集める。

ホルダーからモップ柄を外す。

クロスを外し、ゴミの付いている面を内側にして折りたたむ。

ホルダーとモップ柄をカートに戻し、クロスを一カ所の収集袋に入れる。

【掃き取り方・点検】

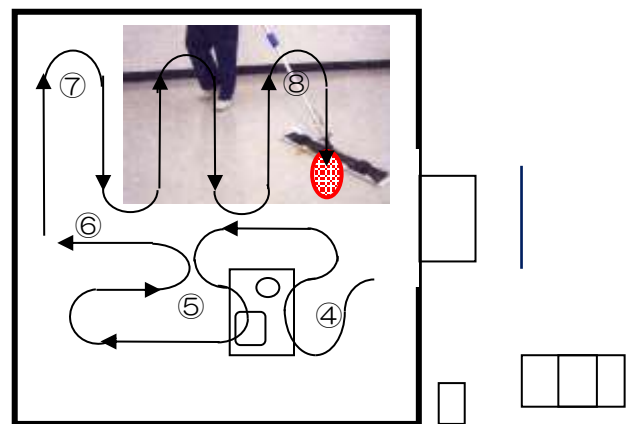
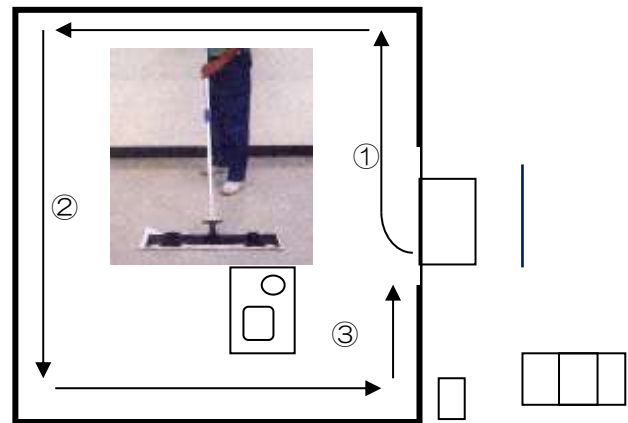
ほうきとチリトリを持って、ゴミの掃き取りを行う。

掃き集めたゴミをチリトリに掃き取る。

掃き残しがないか点検を行う。

ほうきとチリトリをカートに戻す。

ダスタークロスによる押し掃きの掃き順路



◆ホルダーの幅の広い方が前になります。



◆前進作業で掃く。

ゴミの上に上らない。

◆ダスタークロスの取扱い、掃き方。

押し掃き、S字押しの掃き方ができる。

◆モップ柄、ほうき、チリトリは枠から出ない。

◆ゴミの掃き残しがない。

◆ゴミの取り方。

毛先を扇型に動かし、ゴミをちり取りの中まで掃きこむ。

◇モップによる拭き作業

モップ房系とモップ柄を持っていき、
入口マットの上でセットする。

【モップ柄の持ち方】

上手 柄の先端に親指をのせて握る。
下手 上手から肩幅ほどあけて下
を持つ。

【作業の進め方】

①～④ 枠に沿って押し拭きを行う。
枠の角は手を添えて拭く。

机の脚まわりを、手を添えて拭く。
モップ系が枠や机の脚に触れないよ
う、しっかり押さえて拭く。

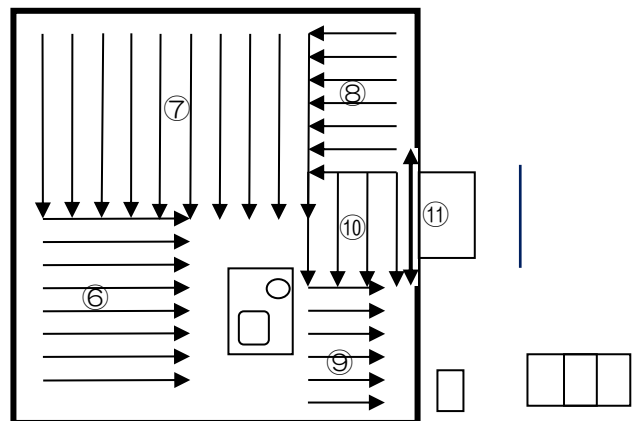
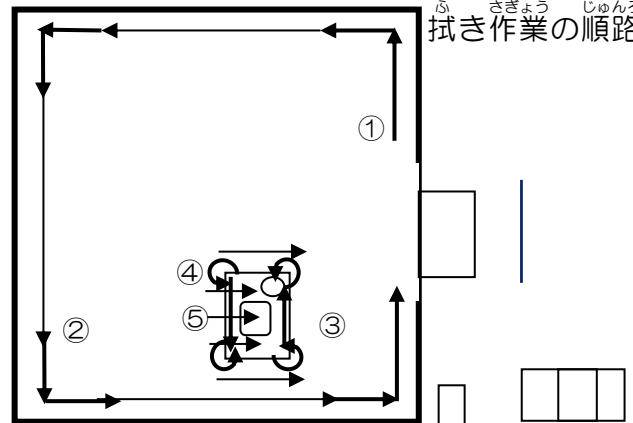
⑤ 机の両脇、机の下を縦拭きする。
(柄は縦拭きの持ち方で持つ)

⑥～⑩ 拭いたあとに上らないよう下
がりながら中央を拭く。

時々(向きを変えるごとに)モップを反
して使用する。

⑪ 入り口部分は、手を添えて拭く。
マットの上でモップ柄からモップ房系
をはずし、カートに戻す。

拭き作業の順路



◆後下がりです。

拭いた上に上らない。

◆拭き残しがない。

◆モップの取扱い、拭き方。

◆モップの房系は、枠、つくえの脚に出来るだ
け触れない。

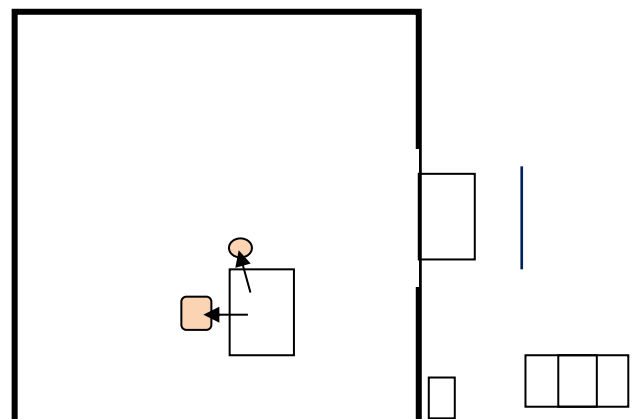
つくえ机の脚周り、枠のコーナーは手を添え
る。

◆モップ柄が枠から出ない。

◇椅子・ごみ入れのセット

椅子とごみ入れをつくえの上から下ろ
し、元の位置に置く。

椅子とごみ入れをつくえの上から下ろす。



◇つくえの上を拭く

みすふ よう あお
水拭き用の青いタオルでつくえを拭く。

かわきふ ようしろ
乾拭き用の白いタオルでつくえを拭く。

【タオルの持ち方】

タオルを八折りの大きさに持つ。

だんご にならないように持つ。

【拭き方】

ふち にかた
縁にそって拭く。

よこ ふ おこな
横拭きを行う。

たて ふ おこな
縦拭きを行う。

(みぎす さんこう
右図を参考にしてください。)

◇退室のあいさつをする

ぜんたい み さぎょう しあが てんけん おこな
全体を見て、作業の仕上りの点検を行う。

◇退室のあいさつをする

しつれい いちれい たいしつ
「失礼いたします」と一礼して退室する。

タオルをカートに^{もと}戻す。

タオルの持ち方

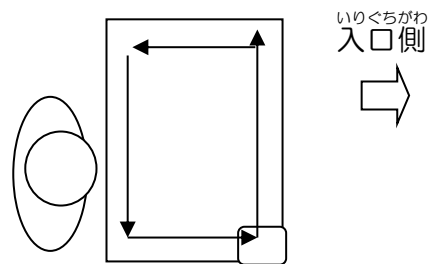


○

×^{にぎ}握らない

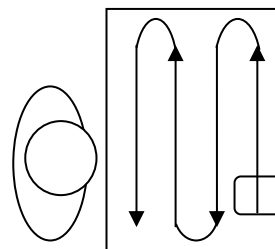
◇つくえの拭き方

①^{ふち}縁にそって拭く。



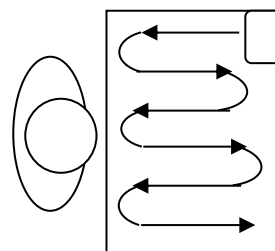
タオルを折り返し、新しい面で拭く。

②^{よこ ふ}横拭きを行う。



タオルを折り返し、新しい面で拭く。

③^{たて ふ}縦拭きを行う。



◆^お八つ折りにしたタオルで拭く。その^も持ち方。

◆^ふ拭き残しがない。

◆クロスで拭く。

◆^{つか}使った道具は^{もと}元に戻す。

◇^{あとかたづ}後片付け

^{さぎょうひょうじばん}作業表示板をカートに^{もと}戻す。

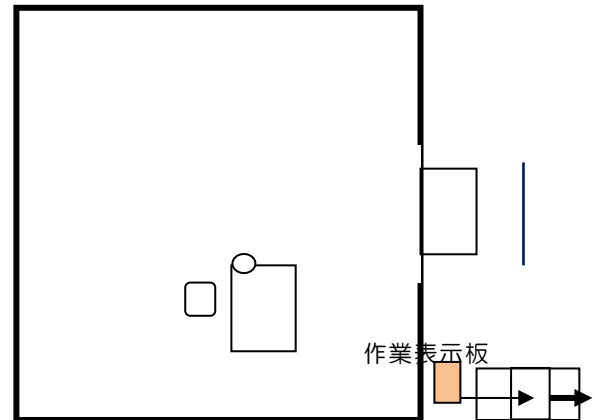
^{さぎょう}作業カートを保管場所^{もと}に戻す。

◇^{しゅうりょう しんこく}終了の申告

スタート^{いち た お}位置に立ち「終わりました」と

^{しゅうりょう しんこく おこな}終了の申告を行^うう。

^{さぎょうひょうじばん}作業表示板を^{もと}戻す。
^{さぎょう}作業カート^{もと}を^{もと}戻す。



◆^{たいしつ}退室のあいさつ、^{しゅうりょう しんこく}終了の申告ははっきりと
^{きょうぎいいん}競技委員にわかるように^{おこな}行^うう。